



— ごあいさつ —

皆さま、こんにちは。
院長の竹下です。



私が当地で移転開業して早いもので7年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援のおかげです。ありがとうございます。

早いですネ！年月が過ぎるのは！この7年で年齢が7歳(当たり前)体重が10キロ増えました(ショック)。そこで少しでもダイエットの役にたたないかと思い、今月よりニュースレターを発行することとしました。

「ダイエットと何の関係があるの？」
ニュースレターを書くというプレッシャーが食欲減少を引き起こさないかという淡い期待からです。

歯の健康やそのほかちょっとした皆様に役立つ話が提供できればと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



平成19年矯正会予定表 竹下歯科

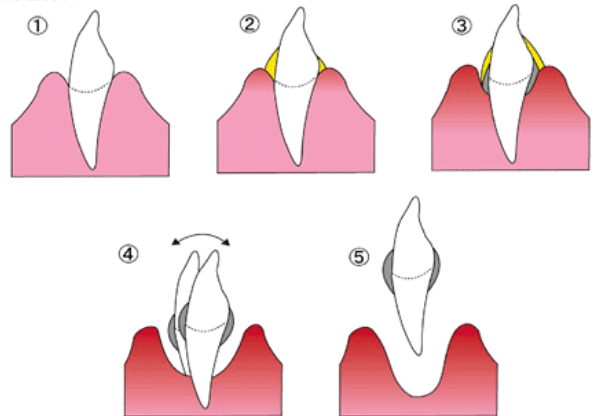
1月 6(土)・16(火)	7月 7(土)・10(火)
2月 3(土)・13(火)	8月 4(土)・7(火)
3月 3(土)・13(火)	9月 1(土)・11(火)
4月 7(土)・10(火)	10月 6(土)・9(火)
5月12(土)・8(火)	11月10(土)・13(火)
6月 2(土)・12(火)	12月 1(土)・11(火)

変更になる場合があります。

今月の健康情報・・・ **歯周病について**

歯周病(いわゆる歯槽膿漏)のメカニズムを簡単にご説明いたしますと、お口の中には、どなたでも沢山の菌が存在しております。歯周病菌もしかりです。ただバランスが均衡であれば、結果として症状は現れませんが、このバランスが崩れたときに発症します。まさか、歯槽膿漏なんて、年配の方々の病気だと思っていませんか？新しい歯周病のガイドラインでは、もう12歳頃から始まっているとさえも言われております。歯磨きなどが不十分で、磨き残しが常に多くある場合などに、まず歯肉だけに局限して炎症が起こります(歯肉炎)。次に、歯石などが歯肉ポケット(歯と歯茎の隙間)に貯まってきて、さらに歯肉の炎症が進行し、歯を支えている骨まで溶かしたら、歯周病となります。程度により軽度、中等度、重度と分類されますが、最終的には、歯を支えている骨が溶けてしまって歯が抜け落ちてしまう、怖い病気です。大抵の場合、自覚症状なしに進行していきますので、歯無しにならないためにも、早めのチェック並びに予防をされなくてはなりません！

歯周病進行図2



遺伝的な要素も多分に有りますし、歯周炎は慢性疾患ですが、あきらめずに継続的、定期的な予防処置により、歯肉の健康維持とご自身の歯を残すことは十分に可能です。院長、スタッフ一同、皆様方のお口の健康を維持するためのお手伝いを誠心誠意させていただいております。



～ 医院からのお願い ～

- ・初診時、および月初めには、保険証のご提示にご協力下さい。
- ・**カード型の保険証**については、毎回提示が義務付けられましたので、ご協力お願いいたします。
- ・予約のキャンセル、または予約時間に遅れられる場合には、お早めにご連絡頂ければ幸いです。
- ・治療後の急な痛みなどは、遠慮なくお電話下さい。
- ・その他、お気づきの点がございましたら、お気軽にお申し付け下さい。

※ 予約の方を優先させていただいております。
午後3時から4時頃が比較的空いております。